

件 名：第3回 安倍川総合土砂管理計画フォローアップ委員会・作業部会
日 時：令和6年12月10日（火） 15:00～17:00
場 所：静岡県男女共同参画センター あざれあ 2階（大会議室+WEB併用）

議事要旨

フォローアップ委員会・作業部会における委員からの助言

(1) フォローアップ報告について

- 中・下流河川領域において河積確保が進まないことが課題となっているが、その要因としては上流からの土砂量の増加だけでなく、河床縦断が平衡状態であることも考えられる。河道掘削を実施しても平衡状態に戻ろうとするため、再び堆積すると懸念されるため、土砂管理対策を適切に検討していくことが必要である。
- 安倍川下流部では、河床上昇が水位上昇に直結するため、整備計画規模だけでなく、超過外力の規模の洪水が発生した際に生じる土砂堆積、洪水時の河床上昇、水位上昇を把握しておくことが重要である。

(2) 計画変更の方向性の提示について

- 計画策定以降に蓄積されたモニタリングデータを引き続き活用するとともに、新技術へのチャレンジも含めて、河川管理者と海岸管理者が一体となって土砂管理対策を検討していくことが重要である。
- 今後は、流域治水の観点から水と土砂の動きを詳細に把握することが重要である。土砂生産が活発な小流域に着目し、長期的かつ詳細なモニタリングを行い、シミュレーションの精度向上と組み合わせることで、土砂生産・流出領域の土砂動態を把握するための手法の確立に向けて検討してもらいたい。
- 幅を持った土砂管理目標を設定していく上で、土砂管理対策の変更、崩壊地の発生などの供給土砂量の実態、気候変動による外力の変化など、中・下流領域から海岸領域も含めて、さまざまなシナリオを想定する必要がある。
- 中・下流河川領域や河口領域への置土対策については、海岸領域への置土も含めて、静岡県と連携して検討していただきたい。
- 事務局より提示された計画変更の方向性について了承された。第二版の策定に向けて、本日の審議内容を踏まえ、十分な検討をお願いしたい。

(3) 海岸領域における対策状況の報告について

- 海岸領域における近年の土砂管理対策の実施状況を報告した。

以上